令和6年度

石川県成長戦略
実施状況
【概要版】

石川県成長戦略の体系

基本目標　**幸福度日本一に向けた石川の未来の創造**　～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川県の実現～

<目指す姿>　<視点>　<６つの戦略>　<３８の施策>

住みやすい石川県

働きやすい石川県

活力あふれる石川県

視点１　石川の新たな価値の創造

視点２　県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

＜６つの戦略＞

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

1 産業のＤＸ推進
2 産業のＧＸ推進
3 産業を支える人材の確保・育成
4 新事業・新産業の創出
5 国内外への販路拡大・魅力発信
6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
7 企業等の戦略的誘致

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

1 農業生産構造の強化
2 持続可能な農業・畜産業の体制づくり
3 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
5 持続性のある水産業の実現

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

1 個性と厚みのある文化の創造と発展
2 スポーツを通じた活力の創造
3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
6 個性豊かな地域づくり
7 世界に開かれた国際交流の推進

4 石川の未来を切り拓く人づくり

1 次世代を担う人材の育成
2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
3 人生１００年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

5 温もりのある社会づくり

1 安心して子どもを生み育てることができる環境の充実
2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
3 全ての県民への必要な医療の提供
4 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
5 男女が共に活躍できる社会の実現

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

1 災害に負けない強靭な県土づくり
2 安心して快適に暮らせる地域づくり
3 持続可能な循環型社会づくり
4 自然と人とが共生できる社会づくり

＜２つの横断的戦略＞

1 デジタル活用の推進

1 デジタル活用の基盤整備
2 社会全体のDX推進

2 カーボンニュートラルの推進

1 幅広い産業分野におけるＧＸ推進
2 エネルギー構造の転換への対応
3 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進
4 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進
5 カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

戦略の実施状況

戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

○スマートエスイーIoT/AI石川スクールの開催や、デジタル活用ものづくり支援センターでの支援等を通じたデジタル人材育成や、先進技術の普及促進

○産学官連携による環境適合型複合材料の研究開発等の推進や、春蘭の里「ゼロカーボンビレッジ」における水素バギー等の試乗イベントを通じて、グリーン分野への参入やカーボンニュートラル対応と競争力強化の両立を促進

「ゼロカーボンビレッジ」外観

○県外学生向けの就業体験・フィールドワークや北陸三県合同企業説明会に加え、都市部からの副業人材の活用や外国人労働者の確保・定着を支援し、多様な人材の確保と企業ニーズに対応する産業人材を育成

戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

○消費者ニーズの高い「ひゃくまん穀」の作付面積の拡大や農地の大区画化・集約化による担い手の規模拡大、スマート農業技術の導入・定着の支援等による生産性向上

○県内外でのトップセールスなど、県産食材の生産振興や販路拡大、県産米の消費拡大を促進

首都圏でのルビーロマンのPR

○いしかわ耕稼塾等を通じた新規就業者の確保・育成・定着と模範的組織・団体の表彰による農林水産業の振興

戦略の実施状況

戦略3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

○県立美術館や歴史博物館における大規模な特別展の開催など、多彩な文化資源を活用した文化観光を推進

○いしかわ県民文化振興基金を200億円に拡充し、「ポスト国民文化祭」の取組を推進

○アーバンスポーツの体験会やスポーツコーチの養成、県内トップスポーツチームと連携したスポーツ教室の開催、パラスポーツの普及促進など、スポーツを通じて活力を創造

○新幹線県内全線開業の効果を最大化するため、北陸ディスティネーションキャンペーン等、年間を通じた誘客キャンペーンを実施

○能登半島地震による風評被害払拭と旅行需要喚起のため、北陸応援割や、能登地域における施設の営業状況や道路状況などを「今行ける能登」として情報発信し、誘客を促進

○インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客強化のため、報奨旅行誘致に向けた体験プログラムを造成

○石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム、友好交流地域との青少年相互派遣による国際交流の推進や、子育て家族を対象とした交流会等によるホストファミリーの確保

○情報発信や移住体験機会の提供等による移住定住の促進や、フィールドワーク等を通じて学生に学びの機会を提供するいしかわサテライトキャンパスの実施

まるごと奈良博（県立美術館）

能登復興の旅 プログラム集

戦略の実施状況

戦略4 石川の未来を切り拓く人づくり

○大学と連携した指導事例の作成等による小中学校における授業改善や、「学力向上の重点」に基づきICTの活用等により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、質の高い学びを推進

○高等学校における地域課題の解決に向けた探究的学習などによる「ふるさと教育」の推進や、産学官が連携した高校生の留学支援、地元産業界等との連携による職業教育を充実

○高い進学実績が期待できる中部・関西地域の高校教員に、石川県の充実した学びの環境を紹介するキャンパスツアーの実施等を通じ、県内高等教育機関の魅力を発信

ICTを活用した授業の様子

戦略5 温もりのある社会づくり

○「いしかわエンゼルプラン2025」の策定や、結婚支援事業を通じた出会いの機会の提供、里帰り出産の妊婦等への助産師による専門相談支援を通じた安心して出産できる環境の整備

○修学資金の貸与による医師・看護師の確保・養成や、奥能登地域の医療提供体制維持に向け新基幹病院の建設と公立４病院のサテライト化による一体的な連携を基盤とした機能強化策を検討

○多様な人材が活躍できる職場環境づくりに加え、管理職を目指す女性を後押しする研修の実施や、男性の家事・育児等への参画を促す取組を通じた男女共同参画の推進。

いしかわエンゼルプラン2025

戦略の実施状況

戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

○市町や大学と連携した講座の実施による防災士の育成

○参加・体験・実践型の交通安全教育の推進や、「自転車ヘルメット着用モデル校」へのヘルメット交付等を通じた交通事故の防止

○「トキ放鳥モデル地区」の支援を通じた餌場確保などの生息環境整備の促進に加え、シンポジウムや環境教育の充実等による社会環境整備を促進。

○クマ出没抑制対策の現地指導、研修の拡充等を通じたツキノワグマによる人身被害防止と野生鳥獣の保護管理の推進

ヘルメット着用モデル校指定の様子

佐渡から県内に飛来した野生のトキ

横断戦略1 デジタル活用の推進

○オンライン行政手続の運用や、「石川県広域データ連携基盤」と各種サービスとの連携開始により県民の利便性を向上

○スマートエスイーIoT/AI石川スクールの開催や、デジタル活用ものづくり支援センターでの支援等を通じたデジタル人材育成や、先進技術の普及促進【再掲】

横断戦略2 カーボンニュートラルの推進

○住宅太陽光発電設備設置への補助制度創設や、重要伝統建造物保存地区に余剰電力を供給する仕組み構築による景観保全と脱炭素化の両立

○「いしかわゼロカーボンの日（10月10日）」イベントの開催等による県民の気運醸成

主要目標の状況

戦略	指標名	目標値（R14年度）	実績値（R4年度）	実績値（R6年度）	達成状況
1	・県民１人当たりの県内総生産(実質)	年平均2.2%成長 (R4～R14年の平均)	年平均0.9%成長 (H24～R4年(推計)の平均)	年平均0.8%成長 (H26～R6年(推計)の平均)	D
2	・農業産出額	600億円	480億円 (R3年)	521億円 (R5年)	B
	・食料自給率(県内)(生産額ベース)	55%	43% (R3年度)	―	―
3	・兼六園周辺文化の森文化施設来館者数	354万人	234万人	248万人	B
	・観光消費額	4,000億円	2,187億円 (R4年)	3,195億円 (R6年)	B
	・人口の転入出数	社会減解消 (R9年)	▲2,163人 (R4年)	▲3,777人 (R6年)	D
4	・全国学力調査の平均正答率	小６：70%以上	小6：69.7%	小６：69.5%	D
		中３：70%以上	中3：62.0%	中３：59.5%	D
	・県内大学・短期大学の志願者数	34,000人	32,609人	26,814人	D
5	・合計特殊出生率	1.8	1.38 (R4年)	1.23 (R6年)	D
	・健康寿命	平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加	健康寿命 男性：73.08 女性：75.90 平均寿命 男性：81.79 女性：87.79 (R1年)	健康寿命 男性：73.60 女性：75.97 平均寿命 男性：81.65 女性：87.33 (R4年)	B
6	・防災士数	12,000人以上	9,125人	10,940人	B
	・交通事故年間死者数	減少	22人 (R4年)	30人 (R6年)	D
横断2	・温室効果ガス排出量の削減率	▲50% (R12、2030年度) 排出量実質ゼロ (2050年)	▲23.1% (R2年度)	▲21.9% (R4年度)	C
横断1	・オンライン化された県条例等を根拠とする手続の利用率	90%	15.8%	46.9%	B
	・県内産業の付加価値率	22.3%	21.6% (R2年度)	―	―

＜達成状況＞

A：達　成　実績値(R6年度)が目標値を上回り、目標を達成した状態

B：前　進　実績値(R6年度)が実績値(R4年度)より上回っており、目標に向かって前進している状態

C：横ばい　実績値(R6年度)が実績値(R4年度)とほぼ変わらず、横ばいの状態

D：後　退　実績値(R6年度)が実績値(R4年度)より下回っており、後退している状態

※「－」は、数年に一度の調査で実績値が出されるなど、R6年度の実績値がない、または未公表のもの